

2-② “オトナ” の役割を考える

■対象：幼児～中学生をもつ親

■時間：60分程度

■手法：ランキング

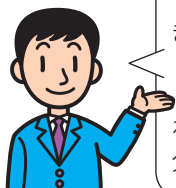
学習のねらい 子どもたちの具体的な生活場面を想定して、“わが子の場合” “知っている子の場合” “知らない子の場合” のかかわり方・しかり方を考え、比較することで、大人（親）としての社会的な役割に気づき、自分ができることを考える。

準備するもの A4用紙 A5用紙 ワークシート 筆記用具 メジャー 時計（ストップウォッチ）

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもたちの具体的な生活場面を想定して、子どもとのかかわり方・しかり方について考えていきます。1人の親として、また、1人の大人としての子どもへのかかわり方をみんなで考えましょう。 まずは、遊びから入っていきます。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①せーのパン!! (P99)</p> <p>②自己紹介</p> <p>③紙タワー (P101)</p>	<p>①4人ずつのグループをつくる。</p> <p>②子どもの頃、地域の大人は怖かったかをテーマにするとよい。</p> <p>③A4・A5用紙をグループに20枚程度用意し、できるだけ高さのある物体を5分間でつくることで競い合う。</p>	A4・A5用紙 20枚程度ずつ メジャー
40分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p>		
	<p>【中心のワーク】</p> <p>①ワーク1の②の欄に、わが子ならどう対応するか考え、数字を記入する</p> <p>②グループのメンバーの対応を確認し、わが子へのかかわり方について話し合う</p> <p>③ワーク1の④の欄に、知っている子どもならどうするか、⑤の欄に、知らない子どもならどうするか考え、数字を記入する</p> <p>④それぞれグループのメンバーの対応を確認し、よその子どもへのかかわり方について話し合う</p> <p>⑤グループの話し合いの様子を発表する</p> <p>⑥まとめ</p>	<p>・個人作業は、これまでの経験や自分の価値観で、どうしているか、どうするか考え、素直な気持ちで判断するよう伝える。</p> <p>・②④では、メンバー全員の対応をワークシートに書き込んだあと、理由や根拠について話し合うよう指示する。</p> <p>・②よりも④に話し合いの重点がいくようにすすめる。</p> <p>・各グループの話し合いの把握に努める。</p> <p>・⑤では、話し合いで中心の話題になったことを発表するよう伝える。</p> <p>・⑥では、親としての社会的な役割についてコメントする。</p>	ワークシート 筆記用具
8分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①今後の子どもたちへのかかわり方について、自分ができることをワーク2に書く</p> <p>②気づきを広める</p>	<p>・今後のよその子とのかかわり方について考えるよう助言する。</p> <p>・全体に広めたい気づきを把握して、発表かコメントにつなげる。</p>	ワークシート
2分	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか？「いけないことはいけない」とわが子にはっきりと示すことは親の役割です。さらに大人として、わが子でなくても「いけないことはいけない」と伝えることが今求められているのではないのでしょうか。また、今日は、“かかわり方”や“しかり方”について考えましたが、ほめることも大切ですよね。地域のみみんなで子どもを育てていけるようになるとよいですね。</p> <p style="text-align: center;">《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</p>		

2-② “オトナ” の役割を考える

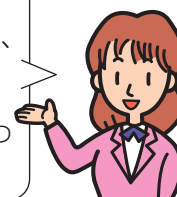
① ワーク1の㉗の欄に、「わが子」ならどう対応するか考え、数字を記入する（3分）



では、ワークシートのワーク1をご覧ください。
 子どもの具体的な生活場面を想定して、どうかかわるかについて、まずは、個人で考えていただきます。
 （ワーク1の「子どもの様子」と「1～5の対応」を読みあげる。）
 では、㉗の「あなた」の欄に、●●が自分の子どもだったら、どうするかを考え、1～5の数字をつけてみましょう。これまでの経験から、自分の判断で素直な気持ちで書いてみてください。3分間程度でお願いします。

② グループのメンバーの対応を確認し、わが子へのかかわり方について話し合う（9分）

（ほぼ全員が個人の数字をつけたことを確認して）
 それでは、グループのメンバーの対応を確認しましょう。まず、他のメンバーの対応を聞いて、ワーク1の㉘の「グループのメンバー」の欄に書き込みましょう。
 （どこのグループも書き込めたことを確認して）
 では、それぞれの対応について、自分の考えや思いを出し合って、わが子へのかかわり方についてグループで話し合しましょう。時間は、6分間程度です。



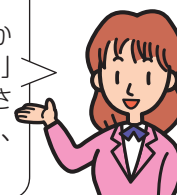
③ ワーク1の㉙の欄に、「知っている子ども」ならどうするか、㉚の欄に、「知らない子ども」ならどうするか考え、数字を記入する（3分）



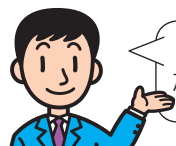
それでは、次に、ワーク1の㉙の欄には、●●が知っている子ども、例えば、近所の子どもやお子さんの友だちだったら、どうするか、また、㉚の欄には、●●が知らない子どもだったら、どうするかを考えて、それぞれ数字を記入してください。
 先ほどと同じで、まずは、3分間程度、個人で考えて、記入してください。

④ それぞれグループのメンバーの対応を確認し、よその子どもへのかかわり方について話し合う（15分）

それでは、グループのメンバーの対応を確認しましょう。まず、他のメンバーの対応を聞いて、ワーク1の㉛と㉜の欄に書き込みましょう。
 （どこのグループも書き込めたことを確認して）
 では、それぞれの対応について、自分の考えや思いを出し合って、よその子どもさんへのかかわり方についてグループで話し合しましょう。対象が「わが子」「知っている子」「知らない子」によって、かかわり方に違いがあったと思います。それぞれの違いについても話し合ってください。時間は、13分程度です。後で、グループの話し合いの様子を簡単に発表してもらいますので、代表者も決めておいてください。



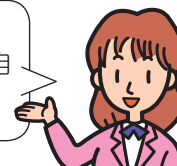
⑤ グループの話し合いの様子を発表する（8分）



時間になりましたので、グループ発表に移ります。代表の方は、グループの話し合いで中心になったことを簡単に発表してください。

⑥ まとめ（2分）

（グループワークの様子をコメントする）
 それでは、今日の学習をふり返って、これからの子どもたちへのかかわり方について、自分ができることを考えて、ワーク2に書きましょう。



“オトナ”の役割を考える

ワーク1 下記の項目について、あなたなら子ども（たち）に対して、どんな対応をするか考え、1-5の数字を書き込んでください。

子どもの様子	⑦ わが子		④ 知っている子ども		⑤ 知らない子ども	
	あなた	グループのメンバー	あなた	グループのメンバー	あなた	グループのメンバー
A ●●が線路に石をおいて遊んでいる。						
B ●●が店の中で友だちと追いかっこをはじめた。						
C ●●が遊んではいけない池で遊んでいる。						
D ●●が友だちと小さい子を蹴ってからかっている。						
E ●●が集団で友だちを仲間はずしにしている。						



- 1 …… 大声でしかる。
- 2 …… その場でしかり、どうしていけないかを真剣に伝える。
- 3 …… 注意を促す。
- 4 …… とりあえず様子を見守る。
- 5 …… その他 []

ワーク2 これからの子どもたちへのかかわり方について、自分ができることを考えて書きましょう。